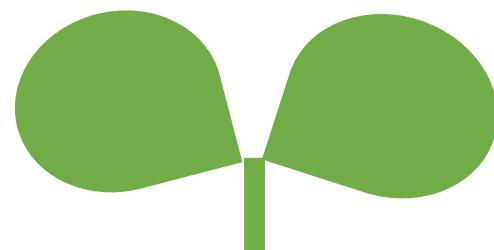




平成28年度
発達保育実践政策学センター実施事業

関連SEEDS プロジェクト 成果報告会



3/5 (日)
10時-14時半
(開場 9時半)
先着100名

乳幼児を対象とした「発達保育実践政策学」は、乳幼児に関する自然科学諸分野、人文科学、社会科学等それぞれの領域で実施されてきた学術研究知見を集約・発展させ、保育の質向上という社会還元をめざす学術領域です。

この志向性に合致する研究を、東京大学大学院教育学研究科を核として展開していく「関連SEED研究プロジェクト」として実施しております。

【本年度の研究一覧】

1. 保育者養成の高学歴化に関する研究
2. 遊び場に関する幼児・児童・保育者の認識
3. 保育者による保育研究の歴史的展開
4. 子どもの育ちを支える絵本選びを促す
研修プログラムの開発とその効果の分析
5. 患児の成長発達における病棟保育士の専門性
6. 国立大学附属幼稚園における人事と研修
7. 親が幼児教育を実践する要件とは何か
：モンゴル国の遊牧民の事例
8. 低出生体重児の発達特性と保育に関する調査
9. シティズンシップ教育としての就学前教育の可能性
—「自然保育」を通じた保育実践及び政策の理論的検討—
10. 乳幼児保育環境のパターン・ランゲージの構築
11. 保育士の職務環境と離職—保育関連の行政データに注目して—
12. 園児のピアに対する向社会的行動と保育者の対応の関連
13. デジタル絵本の効果的な使用に関する検討
—読み聞かせ場面における紙絵本との反応の比較を通じて—
14. 乳児期初期における活動ログ記録技術の開発
15. 自治体における保育需要への政策対応に関する実証的研究
16. 育児期における母の心身の健康維持を目的とした生体リズム調整手法の開発
17. 保育所5歳児クラスの話し合い場面における参加の構造と保育者の支援
18. 乳児の寝かしつけに影響する物理的要因の探索

【プログラム】

- 午前の部（10時-）
→口頭発表
- 午後の部（13時-）
→ポスターセッション

【会場・参加費・申込】

- 会場：福武ホール
(東大本郷キャンパス)
- 参加費無料
- 申込先：センターHP
<http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp>

